

よくある！！

新型コロナワクチンについて Q & A

Q1 ワクチンについて

① 今回のワクチンは、今までと違いますか？

今までのワクチンは、「病原性を弱めた病原体からできている」「感染力をなくした病原体からできている」などでしたが、今回の新型コロナワクチンは、「ウイルスを構成するタンパク質の情報の一部を投与」し「その情報をもとに、体内で抗体を作る」ものです。従いまして、ウイルスを注射するわけではありません。

② どうして、ワクチンを接種するの？

原因となる病原体（ウイルスや細菌など）に対する「免疫」（抵抗力）を作ることによって、その感染症にかかりにくくなったり、かかっても症状が軽くなったりするようになります。また、人口の一定割合以上の人が免疫を持つ（ワクチンを打つ）と、他の人に感染しにくくなることで感染症が流行しなくなり、社会全体が感染症から守られることとなります。

③ ワクチンにも種類があるようですが？

何社かが、ワクチンを製造しています。また、現在開発中のものもあります。現在のところ、出来てから間もないので、どのワクチンが一番効果があるかわかりません。また、ワクチンに限りがありますので、順次、注射していくことになります。従いまして、ワクチンを選ぶことはできませんし、2回とも同じ種類のワクチンを接種する必要があります。

④ 新型コロナワクチンの効果（発症予防、持続期間）はどうなりますか？

開発されたばかりのため、効果の持続期間については明らかになっていません。発症予防につきましては、臨床試験では、95%という統計が出ています。

⑤ 変異株の新型コロナウイルスにも効果はありますか？

開発されたばかりで詳しいことはわかりませんが、ウイルスは絶えず変異をおこしていくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるというわけではないと考えられます。

⑥ 何回接種しますか？

2回です。1回目した後3週間後に2回目となります。ワクチンの効果は、2回目を接種して7日目頃から出てくるといわれています。

⑦ 1回目と2回目のワクチン接種の間隔は？

1回目から3週間後に2回目です。例えば、1回目を3日にうけた場合、21日～24日の間に2回目を接種してください。

ずれた場合、ワクチン効果が低下する可能性がありますので、2回目の日程に合わせてるように、1回目の予約をお取りください。

また、その他のワクチンを受ける予定のある方は、互いに、片方のワクチンを受けてから2週間間をあけることが必要です。必ず、主治医とご相談の上、日程を考えてください。

Q2 副反応について

① どのような副反応がありますか？

接種後に次のような症状が現れることがあります。

- ・50%以上 注射した部分の痛み、疲労、頭痛
- ・10-50% 筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱
- ・1-10% 吐き気・嘔吐

しかし、大部分は、接種後数日以内に回復しています。

まれな頻度でアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が発生したことが報告されています。米国において、2021年1月18日時点で、100万回あたり5例の報告があります。

熱や痛みは、接種後1～2日以内に起こることが多いので、必要な場合は市販の解熱鎮痛薬を飲んでかまいません。しかし、症状が出る前に、予防的に内服することはおやめください。

1回目より、2回目のほうが、やや症状が出やすいようです。

② 副反応で何かあった場合の補償はどうなっていますか？

救済制度では、予防接種によって健康被害が生じ、医療機関での治療が必要になったり、障害が残ったりした場合に、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。

Q3 その他

① 認知症などで本人に接種意思を確認ができない場合は？

原則、ご本人の接種意思の確認が必要です。意思を確認しにくい場合は、ご家族等に協力いただき、ご本人の意思確認をお願いします。

